



志賀高原
ユネスコ
エコパーク

信州 たかやま議会

149号

2025年1月25日

発行／高山村議会

発行責任者／西原 澄夫

編集／議会報編集特別委員会



12月14日、たかやま保育園の発表会が行われました。子ども達は、セリフを覚えたり、踊りを覚えたり、お友達と協力しながら頑張る姿がたくさん見られました。

12月定例会開催 2-3

11月臨時会・1月臨時会

一般質問 9人の議員が登壇 4-8

一般質問あれからどうなった 8-9

高山の子ども達の声を村政に！等 ... 10-11

議員ってどんな人？(第5回モニター会議報告) ... 12

議会モニター募集します！ 13

議会基本条例制定を目指して 14

他自治体の取組みに学ぶ 15

わたしの声 16

令和6年
12月
定例会

老朽化のふれあい号購入費用を含む

一般会計補正予算 4919万7千円 増額を可決

令和6年12月定例会は、12月3日から13日までの11日間の日程で開催されました。村から提出された案件は、同意3件、条例改正2件、一般会計及び特別会計補正予算5件、陳情1件の計11件で、すべて原案通り可決しました。
一般質問は9名が登壇し、村政の課題など21項目について質問しました。



一般会計補正の主な内容

庁舎会議室暖房器具修繕費 20年以上経過した、庁舎2階会議室の暖房器具の修繕費	176万9千円	空き家活用推進事業助成金 申請件数が増えたため	163万5千円
YOU 游ランド施設修繕費 排水施設修繕のため	129万6千円	予防接種委託料 新型コロナウイルスによる重症者を減らすことを目的に定期接種として実施するための予防接種委託料	415万4千円
ふれあい号車両購入費 老朽化に伴い「ふれあい号」の車両を新しく購入する費用	650万円	給食材料費値上がり分 食材料の値上りのため	400万円
乳幼児等医療費特別給付金 前年に比べ、乳幼児等の病院の受診が増加しているため	243万3千円	住民税所得割非課税世帯臨時特別給付金 R6年度に新たに住民税所得割が非課税となった世帯への給付金	260万円
		災害復旧事業 林道中日影線の災害復旧事業による工事請負費	1180万円

各会計の補正額 まとめ

	増減額	合計額	増減の主な内容
一般会計	4919万7千円 増	53億7385万3千円	主な内容は上記通り
特別会計			
国民健康保険	3833万4千円 増	9億3200万2千円	出産育児一時金の増加のため
温泉開発事業	11万8千円 減	6142万6千円	山田温泉及び奥山田温泉給湯事業の工事請負費を追加、基金積立金の減
上水道事業会計			
資本的収入	104万5千円 増		一般会計からの繰入金
資本的支出	594万円 増		蕨平地区消火栓更新工事他
下水道事業会計			
事業収益	84万5千円 増		下水道受益者分担金の増
資本的支出	600万円 増		公共ます設置、マンホール周りの修繕工事請負費ほか

条例の改正を話し合いました

- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
↓これまでであった「懲役」と「禁錮」の2種類の刑罰を一本化し、新たに「拘禁刑」を創設することによる改正

- 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
↓し尿収集に係る手数料について、昨今の諸物価及び人件費等の高騰等を踏まえ、サービスを維持するためにこれまでの170円から185円への改定

↓どちらも全員賛成で可決されました

提出された陳情を話し合い 意見書を送るか決めました

- 本定例会には1件の陳情が寄せられ、総務文教常任委員会にて審査し、全員賛成で採択しました。採択された陳情の内容は、意見書としてまとめ、関係機関に送りました。
- 持続可能な学校の実現を目指す意見書
↓持続可能な学校の実現と子どもたちのゆたかな学びの保障のため、学校の長時間労働は正に資する政策実現を求め、学習指導要領の内容の精査や、学校の働き方改革のための財源確保などを求めました。

11月臨時会

- 令和6年度一般会計補正予算(第3号) 衆議院議員総選挙費用などで187万5千円追加

- 令和6年度高山村公民館長寿命化改修工事請負契約

↓どちらも全員賛成で可決されました

12月定例会・1月臨時会の表決結果『私はこちら判断しました』

番号	議案名	表決結果	久保田雄吉	勝山正弘	滝澤聖	梨本進	沖島祥介	高井央葉	柴田弘男	湯本辰雄	松本茂	山崎秀治	黒岩清道	西原澄夫
同意第4号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて 概要：引き続き山崎五十夫さんを選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第49号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 概要：一般職の職員の給与に関する条例等にある「禁錮、禁固、懲役」の表記を、「拘禁刑」に改める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第50号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 概要：令和7年4月1日から、し尿の収集運搬及び処分手数料を18リットル当たり170円から185円に改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号	令和6年度高山村一般会計補正予算（第4号） 概要：食料品の値上げにより学校給食材料費に400万円の追加など、合計4,919万7千円を追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号	令和6年度高山村国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 概要：保険給付費の出産育児諸費で200万円追加など、合計3,833万4千円を追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第53号	令和6年度高山村温泉開発事業特別会計補正予算（第2号） 概要：山田温泉施設改修工事請負費に158万2千円追加、奥山田温泉施設整備基金260万4千円減額など、合計11万8千円減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第54号	令和6年度高山村上水道事業会計補正予算（第2号） 概要：蕨平地区の消火栓更新工事など、594万円追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号	令和6年度高山村下水道事業会計補正予算（第2号） 概要：公共樹設置などの修繕工事請負費600万円追加、等	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第5号	高山村副村長の選任につき同意を求めることについて 概要：小林信彦さんを令和7年1月1日から4年間、副村長に選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第6号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて 概要：小林信彦さんを令和7年1月1日から固定資産評価員に選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第8号	「持続可能な学校の実現をめざす意見書」採択を求める陳情書 概要：学校の働き方改革推進のための意見書を政府及び関係行政官庁あてに提出	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1号	令和6年度高山村一般会計補正予算（第5号） 概要：物価高騰対策給付金、入学応援給付金、除雪委託料など1億2,184万2千円増額	可決	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

1月臨時会

1月臨時会は、1月14日に開催され、一般会計補正予算について審議し、原案通り可決しました。

質疑

健康福祉課

問 燃料券の交付は昨年、不公平感がある旨、検討をお願いしたが、昨年と同様の提案であるのはなぜか。

健康福祉課長

燃料券は高齢者世帯や障がい者がいる世帯など、特に寒さ対策を図るといふ点で重要であると考えた。若い人がいる世帯については今回は対象からは外した。

教育委員会

問 小中学校の入学応援給付金は、令和7年度入学の子も達から対応とした理由は、不平等さに関しての考えは。子育て世代から出ている要望（スクールバスや小学校通学力バン導入、高校生全体への補助他）についてどう考えるか。

村長

子育て支援は私の公約でもあり、新年度から使える様にした。子どもに掛かる経費は、その都度異なるが、今回は入学に特化したものとした。他にどんな部分で困りなのか、子育て世代とも意見交換等しながら、検討していきたい。

問 1万円の入学祝い金が入学応援金として7万円となると不公平感が大きい。進級応援金として、来年度に他の学年にも給付しては。

村長

制度改正にはつきものである。進学にどれくらいかかるのかを含め今後の検討課題と考える。

反対討論 高井議員

限りある財源の中で、給付金という形の支援が最良であるのか。村の子育て世代のニーズを的確に把握し、納得いく支援となるよう、慎重に行って頂きたい。

スピーディーな行政運営を

勝山 正弘 議員



第6次総合計画の問題点の対応と新たな開発行為はあるか

問 第6次総合計画の未達成課題や多くの問題点が残っているがどう対応するのか。

①「道の駅」「物産館」等の「にぎわいの場構想」についてはどう考えているか。
②『主要地方道須坂中野線(間山峠)』通行不能区間の開通整備の陳情書の提出とその後進展についてどうか。
③「企業誘致や団地、共同住宅の建設の構想」はあるのか。

村長 ①「にぎわいの場構想」にとらわれることなく、村民の皆様、関係機関・団体の意見をお聞きし、他の自治体の事例等を研究し、方向性を決定して参りたい。
②県では、通行不能区間の調査費を予算計上し、調査を行っており、動向を注意しながら、引き続きき県や県議会へ粘り強く要望して参りたい。
③現時点での具体的な構想

③現時点での具体的な構想



地区振興計画に基づく予定事業の報告は早くできないか

問 振興整備計画は、地区の問題点や要望を把握するのは良い仕組みであるが、協議結果が見えにくく、結果報告も翌年3月の連絡では遅すぎる。
①課題の棚卸はしているのか。
②各地区の申請・結果について周知は必要と思われるがどうか。
③行政側の人事異動の際、申し送りはきちんとされているか。

問 振興整備計画は、地区の問題点や要望を把握するのは良い仕組みであるが、協議結果が見えにくく、結果報告も翌年3月の連絡では遅すぎる。
①課題の棚卸はしているのか。
②各地区の申請・結果について周知は必要と思われるがどうか。
③行政側の人事異動の際、申し送りはきちんとされているか。

総務課長

①要望に応えられないものについては、次年度事業として再度要望提出をお願いしている。
②翌年の3月の区長会にて文書で回答させていただいている。基本的には個別案件の周知は不要と考える。
③人事異動の際は、高山村職員勤務規程に基づき、申し送りを実施している。

新村政に期待を込めて見解を問う

山崎 秀治 議員



村政運営に臨む決意、主な公約は

問 ①新村長として村政運営に臨む決意、主な政策(公約)は。
②医療費無料化の5000円手数料廃止、国保の子どもの均等割り全額補助は直ちに取り組みを。
③にぎわいの場創出事業の見直しは。

村長 ①今、置かれている難局に全力で取り組み、乗り越えていきたい。「村民の皆様の幸せにつながる村政」を目指す。「子育て環境の更なる充実」「農産物のさらなるハイブランド化と産地訪問観光、豊富な温泉資源の積極PR等による訪問者数の増」「健康長寿による生涯現役の健康な村づくり」を進めたい。
②新年度予算編成の中で検討。国保の件は今後の国の動向を注視。
③にぎわいの場構想は、全体像が見えにくく、村民を巻き込んだ議論が深まらなかった。今後、地域振興の施策を検討するときは、この構想にとらわれることなく、村民の意見をよく聞き、真に必要なかどうか判断していく。

問 ワインぶどう栽培は、遊園地補助等の拡大を

ワインぶどう栽培は、遊園地補助等の拡大を

問 休農地解消に貢献している。ワイン用ぶどう苗木補助をりんご苗木補助並み(10分の5)に引き上げることを望む。耕作放棄地再生補助基準の引き上げを望む。
村長 現行の補助制度では、多額の自己資金を用意する必要があることや、収益性の点からハードルが高い作物となっている。来年度予算編成の中で補助率の改正に向けて検討したい。

問 バス通学改善要望をどう考える

問 奥山田地区の要望をどう受け止められたか。
答 要望実現をどう図っていくか。
村長 スクールバス導入の検討が求められるのではないかと。奥山田地区の思いを重く受け止めている。多くの児童は徒歩で通学しており、また、路線バスのない地区の対応など村全体で考えていく大きな問題である。PTAなどと協議していくことが大切と考えている。スクールバスの導入は考えていない。

斬新な政策を期待して

黒岩 清道 議員



風通しの良い役場の環境作りは

問 藤沢村政が動き出し、斬新な政策や改革などで、村民の暮らしを良くする村政を望むものであります。しかし、副村長が首長になる事で、心配な面があると感じます。

①無投票では、人事異動の感じがあり、斬新な政策が出しづらくなると感じますが、どのような村政を進める考えか。

②以前よりも、役場の雰囲気は良くなったと感じますが、行政出身者が村長になると、民間や村民の声が届かない心配を感じますが。

村長

①職員との対話に心掛け、様々な意見やアイデアを出しやすい環境づくりに努めて参りたい。

②様々な機会を捉えて、村民の皆様との「対話」を通して、共に行動する、「協働の村づくり」を着実に進めて参りたい。

公共交通の再考について

問 ①県内外の自治体では、幹線の本数を必要最小限にして、



公共交通

③ふれあい号は、国の補助金を受けていないのはなぜなのか。

健康福祉課長

①村民や協議会から、ご意見を伺いながら、慎重に検討して参りたい。

②ふれあい号を増便、延長運行することは、異なる運行形態が重複してしまうことから、難しいものと考えております。

③平成29年度に再編した運行区間と変わらないため、補助金の対象外となっております。

④できるだけ早い段階で、利用対象者や運行要件をとりまとめ、試験運行の可否について検討して参りたい。

子育て家計への応援拡充と安全な道路に

湯本 辰雄 議員



入学祝い金は一人10万円に

問 村では小中学校への入学に際し、入学祝い金を一人1万円助成しています。入学に伴う出費は多額になり、中学になると、制服も必須となります。

来年度の小中学校への入学者は合計74人です。家族の費用負担軽減のために、基金を取り崩すなどにより一人10万円を実現できるものと、考えます。

村長

村の将来を担う子どもが、人生の節目に当たる小中学校への入学にあたり、入学祝い金制度を平成28年に創設しました。入学の際には、学用品や制服などを購入する必要があり、現在の物価高騰は、子育て世代の家計を直撃しているため、新年度予算編成に向けて、検討していきたい。

村道二ツ石17号線は拡幅

問 裏原地籍には広大なワインぶどう園やりんご園が広がり、多くの皆さんが働いています。買物客も訪れます。

建設水道課長

この路線は県道大前須坂線の、二ツ石防災行政無線外子局東側を起点として、黒部配水池付近までの1.3キロの道路で、幅員は4メートルです。

平成28年に裏原地籍のほ場整備や信州高山ワイナリーが建設されたため、この地域を指す車両の通行が増加しています。

しかし、現在、地元地区から地区振興計画などの、道路改良要望がないことや、村でも改良計画がないので、当面案内看板設置を検討したい。



3問とも全て前向きな答弁を
頂きました!!

沖島 祥介 議員



村外への人口流出抑制策として
奨学金返還支援の導入を

問 奨学金返還支援制度が本村に戻ってくるきっかけづくりになるのでは？

村長 若い世代の支援は将来を見据えた先行投資でもあり、本村に戻ってくるきっかけになると思われる。

問 国では地方への定着を推進する施策として、人口流出抑制策として返還支援に要した経費を特別交付税措置の対象としていて、本村の場合0.3が0.5の措置率となり有利だと思いませんか？

村長 本村のように20歳から24歳までの若年層の人口流出が超過している場合は0.5になり村にとって有利な措置と思う。

問 導入により、様々な点で人口流出抑制策になるのでは？

地域おこし協力隊の活用を

問 行政ではできなかった柔軟な発想で、その目的に特化した

奨学金返還支援の導入を

た仕事をこなす地域おこし協力隊を活用する事は、経費も特別交付税措置があり、また、定住策にもつながり、本村にとつてうってつけの制度では？

総務課長

持続可能な村づくりを推進するためにも有利な制度と考える。先進事例を参考に、積極的に地域おこし協力隊の受け入れを推進していきたいと考えている。

話題になった出来事を見直し、観光資源に

問 過去に本村で話題になった出来事①昭和57年天皇陛下がタコチコースを滑走された。②平成16年吉永小百合主演の映画「北の零年」が水中のしだれ桜で撮影が行われた。③令和5年6月1日に山田温泉で藤井聡太6冠が最年少で初の名人位を獲得、7冠を達成。それぞれ適した場所に、しっかり歴史を残すことが観光資源になるのでは？

産業振興課長

本村を初めて訪れる方にとり、非常に有効と考える。関係団体と調整し、事実を伝える。パネルなどで情報発信に努める。

ニーズを的確に捉えた施策を!

高井 央葉 議員



移住しやすい住宅施策を

問 移住して定住に繋がっていくような住宅施策を問う。

定住支援室長

本村に移住を考えた方の年齢層や家族構成等については、移住相談カードへの記録で把握はしているが、施策に繋がる等の考えはない。以前、一部の村営住宅には入居期間を定めていたが、実情に合わせて撤廃となった。本村の住宅用地については、民間の力を借りながら、都市部より安価に取得できることのPRを積極的に行っていきたい。単身の方やご夫婦で入居しやすいアパートは必要と考える。こちらも民間の力も借りながら前向きに検討したい。

有機農業の推進を

問 消費者ニーズの多様化により、有機農業の重要性が高まっている。本村としても「有機農業産地づくり」に取組んでいく必要があると考えるが。

産業振興課長

果樹栽培を中心とした本村の営農状況下での有機農業の推進は難しいと考える。しかしながら、有機農業が地球や地域にもたらす有益な効果等は十分認識しているため、研究を進めていきたい。

子育て教育環境の更なる改善とは

問 新村長の進める施策のひとつである「子育て教育環境の更なる改善」の具体的な方策は。

村長

不登校の問題、ICT教育環境の改善、育児に係る相談等の支援体制の充実、給食の質の維持、教育施設の老朽化対応等、本村の教育環境の改善は多岐に渡っている上に、どれも重要な施策であるので、できることから着実に、スピード感を持って取り組んでまいりたい。

臥竜公園は93年前に誕生、善光寺平一望の“展望公園”は夢のまた夢か？

久保田 雄吉 議員



二宮町との地域間交流の現状は

問 ①神奈川県二宮町との交流が始まった経緯はどうだったのか？

②新型コロナウイルスの流行で二宮町との交流は中断を余儀なくされたと思うが、現状はどうなっていますか？

③8月に二宮町で大雨が降り、河川が氾濫して被害が出たという報道がありました。が、本村の対応は？

総務課長

①神奈川県などを通じて交流自治体を募集、平成13年から相互交流がスタートしています。②新型コロナウイルスの流行などで、当分の間、交流事業を休止することになりました。③豪雨災害には職員派遣などの対応はしていませんが、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願うものであります。

採石場跡地の有効活用を

問 ①雁田山の採石場は眺望がすばらしく、恐竜公園を上回る景観上の価値があると思

うが、将来の跡地の活用について考えていることがありま

すか？（地主さんも多いと思うが）

②（跡地の利用は、展望公園、スポーツ施設、ドローン撮影の練習場などなど、夢は大きく広がります。アイデアを広く募集することも高山村の宣伝につながり面白いのではないですか。採石事業の終了は何十年も先のことになります。

でも、採石によって、日々、頂上は削られ小さく、低くなっていくので跡地の利用を考えるのは一日でも早いことが必要です。

採石事業が終了したら、「また普通の山に戻りました」ではせっかくの宝の持ち腐れです。アイデア次第では、また一つ高山村に自慢の場所が生まれます。是非とも大きな夢を考え、実現していただきたい。

総務課長

事業地の多くは民有地なので、村が採石場の跡地の利用の検討は大変難しいと考えており、アイデアを募集することとは大変難しいと考えています。

藤沢村政 村への愛情、職員と力を合わせ持続可能な村へ！！

梨本 進 議員



成し遂げたい政策はなにか

問 有権者アンケートの重要課題への取組みは。

村長

子育て支援では小中学生の入学準備支援や福祉医療費の無償化を新年度予算で検討する。

観光振興では桜まつりや紅葉トレッキングなどイベント支援や魅力発信の継続に務める。山田牧場振興のグリーンシーズンへの展開は関係者との対話により、より良い方向にしたい。

農業振興では農業の担い手確保のため、各種の助成の継続と優良農地を次世代に引き継ぐための支援を講じる。

高齢者の移動支援では、「買い物支援バス」などについて公共交通協議会で検討。また高齢者福祉は重要課題で、今後の訪問介護サービスが村社会福祉協議会において再開が可能か検討する。また訪問介護に携わる人材の確保策を検討する。

若い世代、働く世代、高齢者世代に向けた「たかやま魅

力増進施策」を掲げ、「いつまでも光輝く持続可能な高山村」のために、出来ることから着実に、速やかに実行して参りたい。

「子ども家庭センター」早期の設置を要望する

問 妊産婦、出産から乳幼児、小中高、成人まで、子どもと家庭、教育に関わる困り事の一体的な相談支援体制が必要。その準備状況は。

健康福祉課長

こども家庭庁において「こどもまんなか社会」の実現を目指す事業が強化され、妊産婦、子育て世帯、子どもに対し母子保健と児童福祉が一体的に相談支援を行う「子ども家庭センター」の設置が児童福祉法の改正で規定された。小規模自治体では専門職員の確保や組織再編など課題多い。

先進自治体を参考に検討したい。

村を訪れる観光客の皆様
に良質なトイレの提供を

滝澤 聖 議員



村内の公衆トイレの
管理部署と環境改善は

問 村内公衆ト
イレの管理は各課
で担当するトイレ
が違つが運用方法
など検討すること

は出来ないか。

産業振興課長

通年使用可能トイレは8箇
所、冬期間閉鎖は10箇所、と
なっています。

問 公衆トイレの管理状況の
把握は。

産業振興課長

担当する所管課で維持管
理、清掃業務を個人やシル
バー人材センターなどに委託
しています。所管課では清掃
業務受託者から定期的な報告
を受け、職員により点検、備
品の補充を行い、利用者に安
心して利用できるよう努めて
います。

問 山田温泉く山田牧場間の
トイレ設置時期は変動する入
込にどのように対応している
か。

産業振興課長

仮設トイレは場所や状況に
より対応しています。いずれ
の場所も、例年観光客が多く



今年より使用を中止した雷滝公衆トイレ

訪れる期間を考慮したうえで
設置し、気候の変動により入
込時期が延びる場合は、延長
するなど対応しています。

産業振興課長

7月9日に「県要望箇所の
現地調査」を須坂建設事務所
と村で実施し、駐車場整備等
の要望を行いました。予算確
保は大変難しいとの返答でし
たが、引き続き要望を継続し
ていきます。

問 (令和4年3月定例会)

路線バス等、交通弱者の
満足したシステムになつて
おらず、年間の費用負担も
増加している。村として、
目標の乗降数の現状把握等
不十分であり、どう考えて
いるのか。

公共交通網対策の見直しについて

(勝山正弘 議員)

議員の一般質問がその後、村の施策としてどうなったのか、
不定期で掲載していきます。

あの質問あれからどうなった？



答 路線バスの維持継続を目的とし
ており、大きな見直しは難しい。乗
降調査も長電バスとしっかり話をしてい
きたい。

要望 令和4年から他の議員を含
め10回一般質問しているが、
見直し対策が実施されていない。第2次
の計画策定時に路線バスの存続の必要性
を含め、改善していただきたい。

学校給食の無償化について

(山崎秀治 議員)

問 (令和4年3月定例会)

村長(当時の内山村長)
は村長選1期の公約で、段
階的に無料化を約束してい
るが、未だに実施できてい
ないが、どう考えているか。

答 子育て支援策として、給食費だ
けでなく総合的に取り組んでお
り、社会情勢の状況を鑑みながら、検討し
ていきたい。

その後

令和6年4月よ
り、完全無償化実
施となった。



公民館改修について

(勝山正弘 議員)

問 (令和4年9月定例会)

建て替えから改築に変更された経緯と村民への周知がなされていない。

コスト比較も十分にしていなかったのか。公募によるデザイン募集はないのか。

答 改修検討委員会で検討して参りたい。費用については現時点では公表できないが、基金積立金を活用する予定。デザインは、建物を熟知している建設時の設計事務所へお願いしたい。

その後 令和6年4月にパブリックコメントを行い、令和6

年度に基金の使用で予算化。11月に請負契約を締結し、事業を進めている。

移住定住の賃貸物件が足りない

(沖島祥介 議員)

問 (令和4年6月定例会)

移住定住の賃貸物件が足りないので、空き家バンクを村で買い取り、賃貸物件にしてみてもいいか。

答 リフォームの在り方、賃貸方法など、先進事例を参考に、柔軟な発想で取り組んでいきたい。

その後 村が空き家を10年間無償で借り上げ、改修工事を行い賃貸する事業を、令和5年度から実施している。



子育て支援、おむつ補助について

(山崎秀治 議員)

問 (令和4年12月定例会)

この10年で実質賃金が24万円減少した。子育て支援のひとつとして、経済的負担軽減のため、おむつ代補助制度をつくり、せめて0歳児のおむつ代をゼロにしたい。

答 年間のおむつ代の平均は1人あたり2万4千円程度かかっていると言われている。子育て支援の充実を図るべく、新年度当初予算編成に向けて検討していきたい。

その後 令和5年4月から、満3歳までの幼児に対し助成事業を開始した。その後、利用者の声に応え、満4歳まで拡大している。

きらめきポスト回答の公表

(高井央葉 議員)

問 (令和4年12月定例会)

きらめきポストの質問と回答についてオープンにすることで、よりたくさんの方からの声が寄せられることに繋がると思うが。

答 公表を行うことが行政の見える化に繋がると認識し、公表希望の有無などを確認しながら、公表していきたい。

その後 令和5年4月から、村ホームページで公表している。ホームページの「村政情報」から過去の回答も見ることが出来る。

小中学校のタブレット活用

(高井央葉 議員)

問 (令和6年9月定例会)

小中学校におけるタブレット端末による持ち帰り学習の推進を。

答 必要に応じて大いに利用していただけるよう、今後も様々な支援に努めていく。

その後 それまで利用できないとされていたところで利用可能になった。今後も幅広く活用されることを望む。

高山の子ども達の声を村政に！

中学生議会

10月18日、今年も中学生議会が、高山中学校体育館にて、全校生徒参加で行われ、私達議員も傍聴させていただきました。

高山まつりのPR、人口減少について、空き家対策、観光客を増やす提案、バス利用について、YOU遊ランド遊具について、新たな公園について…どの質問も、中学3年生の皆さんが3年間、村について学び、感じたことからさらに調査、研究を重ね、その結果と、実際の体験を通して発案される具体的な提案となっ

ていて、とても素晴らしいものでした。

YOU遊ランドの遊具更新について提案された山本さん達のグループでは、保育園、小学校へのアンケートも実施し、その結果を円グラフにして表示するなど要望がダイレクトに伝わる工夫もありました。提案も更新のメリットを示すなど、とても具体的なものとなりました。

子ども達の想いが届くよう、議会としても考えていきます。

(高井央葉)



3年生は堂々と発表、1,2年生は真剣に傍聴していました

高山村の子ども施策を共有

教育関係者・総務文教常任委員意見交換会

11月7日、総務文教常任委員会として、高山村の教育課題に関して現状を把握するため、「教育関係者・議会総務文教常任委員意見交換会」を行いました。

出席者は教育長、教育委員、村教育関係者、たかやま保育園園長、小学校校長、中学校校長、議長、総務文教常任委員の構成です。

子育て支援センター、保育園、小学校、児童クラブ、学童クラブ、中学校、高校生の通学、支援の現状、生涯学習について、ボランティアの事など、様々な場面における教育行政について説明をいただき、その後、質疑応答の形式で意見交換を行いました。



質疑応答では、保育園の主食の提供について、小学校中学校のタブレットの活用の様子、長期休みにおける子どもの居場所について、ボランティアについて、児童クラブ・学童クラブの様子など、細かなところまで、現状について教えていただき、さらに提案や要望なども行いました。

今年度は、小学校、中学校共に校長先生が新任ということで、高山村に来ての感想などもお聞きすることが出来ました。

今回の意見交換会を参考に、今後の高山村の教育分野でより良い政策を策定するために役立てたいと考えております。

(総務文教常任委員長 沖島祥介)

雁田山の碎石事業を調査

雁田山採石調査特別委員会委員

11月8日、碎石採取場（藤森碎石(株)と(株)信越建商）2社の現地調査をおこないました。

碎石は昭和41年からで、郷土景観保護地区指定を受け県の許可で行われています。村では岩石採取計画許可申請に対して、小布施側の稜線を残して採掘を行う事、粉塵・騒音を最小限に抑えること、運搬車両の安全管理の指導教育、道路を損傷した場合の速やかな復旧などを要望しています。

碎石跡地緑化事業は1990年代後半から、乾燥地に強い樹種を選び（カモシカなどの獣害対策含む）早期緑地化を目指し行われています。上



段部より植栽を行う事により、落葉が下段の樹木の腐葉土にする工夫もよかったですとお聞きしました。

尚、台風災害での千曲川改修工事にも大量の碎石が使用され、早期の復旧が出来た要因との話もありました。今後は更に50年の長きにわたる採掘が予定されています。

地域住民の方のご意見を真摯に受け止め、安全作業で地域貢献を望みます。

(滝澤聖)

「防災」とは？

長野県地方自治政策課題研修会

11月12日、第19回長野県地方自治政策課題研修会に参加しました。

講演は、「地域の防災・減災力をどう底上げするか？」～産官民の役割について考える～と題して、山口大学院創生科学研究科准教授の瀧本浩一先生にお話しいただきました

『防災ってそもそも何？』
『必ず来る災害に対しての意識は？』
『訓練では何をしている？』

分かったつもり、やったつもりになっているという質問から、出来ているのは災害が発生してからのことであって、予防活動は実は遅れているということに改めて認識するとともに、今やっている、地域活動や、防犯活動等との連携を防災にも取り入れるなど、無理なく持続可能なものにとり多く課題提起をいただきました。どんなマツチングが出来るか、今出来ることは何か、考えて動いていきたいと思えました。

(高井央葉)



当日は、会場とオンラインにて参加しました。

開かれた議会を目指して

地方議会活性化シンポジウム2024

11月29日、総務省主催で、地方議会活性化シンポジウムがオンラインによって開催され、私たちは役場会議室において研修を受けました。

全国各地の議会議長の発言がありましたが、その中で興味を持ったのは、沖縄県南風原町の報告でした。

南風原町では開かれた議会を目指して、平成25年にインターネットによる議会中継を開始し、また、議会報告会を重視して、シヨッピングセンターでも行っています。

また、現在沖縄県で初の、女性が正副議長に就任されています。これには、先輩議員の努力があったことによるので、これからも活動しやすい環境整備を常に意識していると、話されました。

次に、東京都の新島村議会では、以前、議員定数削減が議論になったとき、全議員が意見表明したものを、「新島村の未来につながる議会と議員定数を考えませんか？」と、議会だより号外を発行して、村民にお知らせしています。

また、小学生が議員となって、村執行部に一般質問を行うことや、議員が答弁者になって、模擬議会を開くなど、子どもが参加する開かれた議会に努力されていることを、報告されました。

私たちも、議会基本条例を策定し、開かれた議会を構築できるよう、努力していきたいと考えます。

(湯本辰雄)

『議員』ってどんな人？

議員にインタビューをしてみよう！

～ 第5回 議会モニター会議開催報告 ～



11月17日(日)に、第5回目となる議会モニター会議を開催しました。
今回も、モニターの皆さんからご希望をいただいた「議員にインタビューをしてみよう」を行いました。
初めての試みということ、モニターさんも議員も始めは緊張の面持ちでしたが、話が進むに連れて、モニターさんからは次々に質問が飛び、議員も初心にかえったり、改めて考えたりしながら、真剣に答えています。
「議員になつたきっかけは？」
「議員の仕事以外に何をしているか？」
「議員になつて変わった事は？」
「座右の銘は？」
「高山村の10年後はどうなっていると
思いますか？」
等々、ズバリという質問をたくさんいただきました。



終了後、モニターさんからは、「なかなか聞く機会がないし、選挙時とはまた違う意見も聞けて新鮮だった」との感想を。議員からは、「普段はない機会、議員として自分のことを話す良い機会になった」との感想がありました。

今回の様子は、最後のモニター会議にて、モニターさん自らまとめいただき、『議員』がどんな人か、村民の皆さんにも伝えていきたいと考えております。

来年秋には、任期満了に伴う議員の改選が行われます。

「議員」を知っていただく機会や、議会・村政について関心を持っていただける機会を作りながら「村づくり」について、一緒に考えていきたいと思います。

(高井央葉)

不定期特集

議会を知って みんなで作ろう 高山村！

不定期特集の3回目です。
今回は「議員報酬」についてです。
皆さんは、議員報酬に
対してどんなイメージ
を持たれていますか？

各地で議員報酬の引き上げ相次ぐ

県内市町村で、議員報酬の引き上げや引き上げ計画が相次いでいるとのマスコミ報道がありました。12月議会での引き上げは、飯綱町(22万円に)、佐久穂町(21万8000円に)、飯島町(21万5600円に)、青木村(22万4000円に)等で行われています。引き上げの背景には、議員のなり手不足を解消しようという流れがあります。長野県の町村議会の議員報酬の平均額は17万6286円。全国平均21万8218円を大幅に下回り、山梨県(15万9000円)に次いでワースト2位の低水準となっています。なり手不足は低額な議員報酬が一因になっているとの見方から、全国的に引き上げの議論が進んでいる状況です。

本村では、昨年の10月23日に高山村特別職報酬等審議会からの答申がありました。その内容は議員報酬を現行の16万9000円から18万円に引き上げるというものです。
皆さんはこの引き上げ答申についてどうお考えでしょうか。



高山村議会 議会モニター 募集します！



議会のことを知って一緒に考えましょう！



現モニターさんの声



若い方が危機感を持って積極的に参加されるきっかけになると思った。

議会、議員の活動について理解を深めることが出来た。今後の村策について考える大変良い機会となった。

直接議員と話せる、意見を聞いてもらえる届く、貴重な機会だった。異なる立場の方が話し合う場がより良い村づくりの第一歩だと感じた。

ただ意見を聞くではなく、相互に話をしながら、様々な課題について考える事が出来ました。

この経験を活かして、令和7年4月～令和9年3月までを任期とする次期議会モニターを募集します。

応募資格は、村内在住の高校生以上で、高山村議会に関心を持って、議事をより良くするために一緒に考えてくださる方。

活動は、議会や議会報、村ホームページなどを積極的に見ていただき、年3回程度のモニター会議に出席し、意見や感想をお願いします。

募集期間は令和7年2月14日～3月14日

詳細は、広報折込、役場入口（村民ホール側）に備え付けの募集チラシ、または村ホームページでご確認ください。

たくさんの方に議会、議員を知っていただき、より良い活動をしていきたいと思います。応募お待ちしております。

この期では、モニターの皆さんからのご希望も伺いながら、

- 議場や議員が使っている部屋の見学会
- 読みたいと思う議会報についての意見やアイデア出し
- 議員や議会の抱える課題について一緒に考える
- 一緒に（当事者の声を）一般質問を考える
- 議員つてどんな人？議員にインタビューをしてみる

など

これまで、令和5年5月～令和7年3月の任期で、17名の議会モニターの方々に、議会や議員を知ってもらい、議会や議員の抱える課題について、一緒に考え、様々な意見をいただけてきました。

村民の代表である私達議員にとって、『議会報告会』は、議会の活動を伝えて、村民の皆さんそれぞれの声を直に聴く機会ですが、議会モニターは、村民の皆さんと一緒に様々なことを考える、新鮮な機会となりました。

令和7年4月～令和9年3月任期となる
次期議会モニターを募集します！

議会・議員活動の指針となる 議会基本条例の 制定を進めています



議会基本条例策定特別委員会

議会基本条例を最初に制定したのは北海道ニセコ町で、平成18年5月に施行されています。本村議会では、7月19日に佐久穂町議会を視察、9月議会では議会基本条例策定特別委員会を設置し制定に向けて検討をすすめています。



パブリックコメントを 募集しています

募集期間

令和7年1月15日(水)～2月7日(金)
17時必着

閲覧方法

村ホームページ、広報たかやま
1月号に折り込みのチラシ

意見を提出できる方

村内に在住、在学、勤務する方、
村内に事業所がある法人など関係者の皆さま

提出先・提出方法

持参：役場 議会事務局
郵送：〒382-8510
高山村大字高井4972番地
高山村役場議会事務局 宛て

提出用紙

広報たかやま1月号折り込みの
用紙、村ホームページよりダウンロード、役場入口（村民ホール側）にある用紙

皆さまからのご意見をお待ちしています。



議会基本条例 Q & A

問 制定する目的は何ですか。

答 目的を第1条で示しています。
「村民に信頼にされ、活力ある議会とするために必要な基本理念を明確にし、議会及び議員の活動原則と、その他議会に関する基本的事項を定める」「村民に開かれた議会を目指し、豊かで住みよい未来に向けた村づくりと村民の福祉の向上に寄与する」を目的としています。

問 全国や近隣自治体での制定状況は。

答 1012自治体（2023年10月1日現在）で施行され、施行自治体の割合は55.6%です。道府県が32団体、市区町村が980団体となっています。近隣では、小布施町・飯綱町・信濃町・飯山市・長野市などで制定されています。

問 いつまでに制定しますか。

答 いま、パブリックコメントを募集しています。皆さんからお寄せいただいたパブリックコメントを参考に、議会基本条例（案）を確定し3月議会に提案、可決し4月からの施行を目指しています。

他自治体の取組みに学ぶ！

常任委員会合同視察／12月17日・18日／神奈川県「清川村」「真鶴町」へ

神奈川県で

たったひとつの村

清川村に学ぶ

人口およそ3000人の清川村は、東丹沢山麓に位置し、県民の大切な水源である宮ヶ瀬湖畔を中心に、一年を通して展開する観光スポットに、首都圏からたくさんのお客が訪れている。

緑豊かな自然の中で子育てがしたいと若い世代の移住者が増え、自立持続可能性のある自治体となっている。

子育て世帯に対する給付や補助事業では、出産祝い金や小児医療費助成、おむつ購入助成、入学祝い金3万円支給など充実している。また高校大学通学補助としてバス定期券の半額補助や自転車購入補助などで保護者に大変喜ばれている。

また高校入学者学習用タブレットの購入費半額補助は、きめ細かな支援として注目される。初めての子育て世代型の村営住宅、メゾネットタイプの全7棟14戸を新たに建設。「夢の詰まった子育てに配慮した住宅」として45歳以下の子育て世帯が対象で49歳まで入居可能としている。約7割以上が村外からの移住で退去後も約4割が定住に結びついている。

「宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい」

は38年目を迎え、30m超のジャンボツリーや吊り橋を彩るイルミネーションなど多彩。年間約15万人が訪れ、約3億円以上の経済効果があるという。

役場前の県道沿いには、小規模だが村が設置主体で民間が運営している道の駅「清川」があり、ブランド化した特産品の販売所や食堂、休憩所がある。

谷あいで平坦地の少ない厳しい環境の清川村と感じましたが、豊かな自然資源を年間通じて最大限に活用して多くの観光客を迎えていること、また豊かな子育て支援の取組みにより、若い子育て世代の移住定住に繋がっていることや、事業の企画運営、PRの重要性などを参考にすべきことが多くありました。

(福祉産建常任委員長 梨本進)



美の町「真鶴」 小さな町の大きな挑戦

2日目の行政視察は真鶴町でした。真鶴町は面積7km²、人口約6,700人、標高は海拔ゼロmから736mの、町全体が勾配10%となる急傾斜地であり、起伏に富んだ町です。主な産業は漁業、みかん農業、宿泊業、それに江戸城の石垣に使用されてもいる、小松石の石材業が有名です。

真鶴町のまちづくりが一躍有名になったのは、バブル期の開発行為により、町に混乱があったため、平成6年に「真鶴町まちづくり条例」(通称:美の条例)を制定されたことです。

その内容は

- ① 土地利用規制基準
- ② 美の基準
- ③ 建設行為の手続きを体系化したことです。

現在、自然や起伏に富んだ地形が織り成す風景、路地に彩られた草花から見られる人々の配慮が息づく風景、「山の仕事」「海の仕事」が営まれている生活風景などを残しています。これらが真鶴町が目指す「変わらない

風景にある豊かさ」である。とのことでした。

また、観光客について尋ねたところ、道路が狭いので、車ではなく、個人での散策を推奨しているとのことでした。

私が視察したところでも、急傾斜地に建つ住宅、その庭や石垣から見えるみかんの実や草花がありました。しかし役場から見える勾配10%の住宅の並びは、「イザとなつたら」を考えると、心配にもなりました。

あらためて、そこに住む住民の要望により、それぞれの自治体により様々な考え方があつたと気づかせてもらう研修でした。

(総務文教常任委員長 沖島祥介)



真鶴の町並み (真鶴町観光協会より)

わたしの声

☆手芸サークル『チャオ』☆



村民の皆様こんにちは！
手芸サークル『チャオ』のサークル長をしております二ツ石の久保田朋美と申します。

このサークルは支援センターで運営しており、月に

二ツ石区
久保田 朋美

1度、子育て中のママたちが集まって色々制作しております！というのにはサブメイン。ありがたいことに活動中は支援センターの先生たちが子どもたちを預かってくれて、入会時に頂いたお茶代のみ頂き、お茶を飲みながらみんなでお菓子交換をして悩み事や保育園や学校の情報のシェアなどママたちの交流の場にもなっております。

私は1人目出産後、子育てって思ったよりずっと大変で孤独…ママ友どうやって作るの？…と思っていました。でも大丈夫！このサー

クルには頼れる先輩ママさん、気さくなママさんが沢山在籍しています！子どもを預けてホッと一息つきながらお喋りできる環境！最高じゃないですか？私はこれをゴリ押ししてます！（笑）

手芸サークルなのに手芸が苦手な私。でも裁縫の資格を持ったプロも在籍していて安心！各自好きな物を作るといふサークルで、みんなで作れるものを持ち寄りたりもして、私でも作れた！の達成感もありました！

今年度は4箇所でお店も活動の幅も広がっています！店頭には入園時に必要なランチマット、お弁当袋やヘアゴム、ヘアピン、イヤリング、指輪



活動の様子
みんなで楽しく活動しています



作っている作品
保育園のランチマットやお弁当袋、アクセサリなど

などなど。サークル内で作ったものを売っています！子どもたちがかわいいー！と選んでる姿を見るとこちらも嬉しくなり、やりがいもあります！出店時も子連れで集まってワイワイ楽しく販売させて貰っています！

サークルは自由参加なのでとにかく軽い気持ちで体験申し込みからして頂けたら嬉しいですね。こうやって色々な場所で販売できたり村民の皆様知って頂ける機会を頂けてとっても感謝しております！バザーやマルシェなどに出品した際にはぜひ覗きにきてください！



編集後記

昨年の夏も厳しい暑さが続きましたが、12月は一転近年にない降雪がありました。CO₂の排出削減のため、国連は先進国に対して2030年までに石炭火力からの撤退を要請しています。ところがG7（主要7か国）の中で日本だけ撤退期限を示していません。

2035年までの温室効果ガス削減目標の政府案について、気候危機の打開を求めて活動する若者の団体「未来のための金曜日（FFF）」などが、「国際基準より低い目標を押し切ろうとしている」と批判。「先進国として責任ある排出削減目標」を求めてオンライン署名1万5744人を経済産業省に提出しています。

気候危機打開は待ったなしといえます。（山崎秀弘）

発行責任者

議長 西原 澄夫

議長 湯本 辰雄

副委員長 高井 央葉

委員 山崎 秀治

委員 梨本 進

委員 勝山 正弘

発行 / 長野県高山山村議会
編集 / 議会報編集特別委員会
TEL (026) 214-9763
印刷 / ㈱オフセット